

# リレーメッセージ



## 「日本国憲法と人権」～改憲は人権規定をどう変えようとしているか～

学習講演会 12月8日(土) 当日の感想から

「聞いて!聞いて!私の声」・・・「おがわ町九条の会」では町のみなさんのいろいろな声を特集してゆきます。「九条へのおもい」「平和への願い」「現状への不平・不満」などなど、みんなに聞いてもらいたいことを、どうか事務局までお届けください(匿名でも結構です)。今回、増尾の森田みどりさんから素敵な詩と、勝呂のHさんから投稿いただきました。ありがとうございます。

どちらを選びますか

一 戦争と平和  
あなたはどちらが好きですか  
改憲と九条  
あなたはどちらを選びますか  
かつて戦争が多く命を奪った  
あなたの両親  
あなたの兄弟  
あなたの子どもたち  
その魂の贈り物 憲法九条

二 戦争と平和  
あなたはどちらが好きですか  
改憲と九条  
あなたはどちらを選びますか  
今も戦争で互いの命を奪い合う  
愛する夫  
愛する恋人  
愛する子どもたち  
この世界の願い 憲法九条

三 戦争と平和  
あなたはどちらが好きですか  
改憲と九条  
あなたはどちらを選びますか  
いつかどこにも戦争のない世界を  
みんなの知恵で  
あなたの方で  
一緒につくろうよ  
未来への約束 憲法九条

戦争と平和  
あなたはどちらを選びますか  
増尾 森田みどり



### 戦争の愚かさや怖さを・・・

勝呂 H

貴方には外国人の知り合いがいますか?いまその人の笑顔を思い浮かべてほしい。その人の国にどこかの大国が自分の都合で武力攻撃する。それを日本も協力しろと言われて手伝う。たちまち今のアフガニスタンやイラクのような恐ろしい戦場と化してしまう。

そんなルールを国は作ろうとしている。どこの国とも血や涙を流さず、話し合っ解決しようという平和憲法九条があるのに。外国にも自慢できるこのルールを変えて武装しようとしている。そしてまず犠牲になるのは私たち若者です。私はご免です。でもまだ間に合います。ひとりひとりがいやだと声を上げれば届くはず。戦争の愚かさや怖さを知っている人は、話してほしい。知らない人は聞いてほしい。

私自身の反戦意識は小学校低学年の頃、近所のおじさんから中国へ兵隊に行ったときの残忍極まりない話を聞いてからだ。一生忘れられない映像として焼きついてしまった。人を狂わせ国を破壊しあう戦争のことなど話したくないはずだが、二度と間違いを繰り返さないためにも話してほしい。聞いてほしい。

外国との交流も盛んになり、平和があるから知り合えた外国の人たちといつまでも笑顔でつながってほしいと切望してやみません。

◆島田弁護士の講演から、現行平和憲法の9条とともに、自由や平等、生存権保障などの人権規定などの大切さをあらためて学びました。憲法第13条ではこれらの人権は「公共の福祉に反しない限り」最大限に尊重されるとされている。この「公共の福祉」とは個人の人権と人権のぶつかり合いの調整原理であるとのことである。ところが自民党改憲案は、この「公共の福祉」を「公益及び公の秩序」に置き換え、国家権力への個人の従属を巧妙に持ち込もうとしている。9条とともに、こうした策動ともたたかかっていくことの大切さを痛感したところです。



講師 島田浩孝さん

(東小川 大日方 安郎)

◆「憲法には国民の「義務」は極めて少なく、権利ばかりが多すぎる」という批判に対して、「それは当り前のことです。憲法は国民が守るべきものではなくて、国が国民のために守らねばならない決まりなのですから」というのは説得力があります。(S. Y)

## 九条を活かして、若人へ、世界へ、未来へ。

### —「九条の会第2回全国交流集会」に参加して—

2007年11月24日 於 東京・一ツ橋ホール 藤村 吉則



2004年6月に大江健三郎氏ら九人の呼びから始められた「九条の会」は1年で全国に3千、2年後の昨年6月の第1回全国交流集会の時には5千余、3年を経た今回の第2回集会で報告されたのは6,800の「九条の会」が日本全国に結成されているということでした。集会の壇上に並んだのは大江氏の他、奥平康弘(憲法学者)、加藤周一(評論家)、澤地久枝(作家)、鶴見俊輔(哲学者)の5氏の呼びかけ人。会場(東京・一ツ橋ホール)を満員に埋めたのは全国550の九条の会から1,020名の人々でした。

初めに事務局長の小森陽一氏のいつもながら簡潔で的確な現況分析から始まり、5人の各呼びかけ人からそれぞれ個性的な発言がありました。午後は、各地の会員の自主的報告、発言による交流の運営に費やされました。参加者の大半は団塊の世代層を中心にした50代60代以上の方々であろうと見受けましたが、報告や発言をされる各地各域からの皆さんは、それぞれの暮らしの中で果たすべき役割に目覚めた、内発的な使命感が伝わってくる、朴訥でも、顔赤らめながらも、発言し行動しなくてはというもので、参加者の胸を打ちました。(おがわ町九条の会からは2名の代表が参加しました。当日の呼びかけ人5氏の発言など詳しくはインターネット「九条の会」で検索できます。)

「おがわ町九条の会」は「憲法九条を守りたい」と思う方ならどなたでも入会できます。「おがわ町九条の会」は皆様の会費(一口200円)とカンパで運営されています。ご連絡をお待ちしています。(0493-72-4445 西田)

新しき年の始めの初春の

今日降る雪の

いや重(し)け吉事(よごと)

大伴の家持(万葉集より)



春はそこまで・・・ 上横田 永島善太郎さん (写真提供)

### 新しい年を迎えて

「まして日常の中で、人道的にも  
もてる政治家や官僚たちの行いは、  
怒りを超え呆れてしまい、かえってこ  
ちらが恥ずかしくなります。」

しかし私たちの声をきかない、き  
うとしないこの人たちに、「これでいい  
のだから」といふ思いがします。

この人たちのすすめる「アメリカと  
一緒に戦争できる国にするた  
めの九条改憲」への取り組みは、小  
泉安倍両氏以降も進んでいます。

強行成立された国民投票法(基)  
礎として、改憲のための国会協議」を始  
めようとする動きがあり、総務省は  
PR用に六億円の予算を組んでいる  
といわれています。

今、私たちは、日本国憲法第九条は  
世界の平和と自由を強く共鳴し  
ます。

皆さん、九条を守るといふ一点で手  
をつなぎましょう。

私たちがひとりひとりの意志が国の  
姿勢を変えるといふことを確信してい  
ます。

二〇〇八年元旦

おがわ町九条の会

# 一緒に平和を守りましょう

「平和を守ること」の大切さを痛感する昨今です。この平和のかなめに「憲法九条」があることが、日本国内にとどまらず、アジアや世界で共通の認識になりつつあります。「憲法九条を世界遺産に」「岩波ブックレット」の2冊の本をご紹介します。「平和」についてお考えになる一助にして下さい。(詳しくはそれぞれの本をお読み下さい。)



何があってもこれだけは守る、と決めておくのが  
世界遺産。だから憲法九条を世界遺産に！

(爆笑問題：太田 光さん)「憲法九条を世界遺産に」  
(中沢新一との共著、2006年8月 集英社新書(¥693)から)



「今の政治家は戦時中の軍人と同じです。そう  
いう連中が憲法改正、改正と言って、また日本  
を戦争に引きずり込もうとしている。彼らこそ  
非国民です。」「次は徴兵制でしょ。」「自分の  
夫が、ボーイフレンドが出征させられて、死を  
約束されているわけです。」(美輪明宏さん)



「この“平和憲法”はなくてはならないものと思  
っています。」「この9条のおかげで、日本は  
戦争で誰ひとり殺しもしなかつたし、殺されも  
しなかつたのです。それも60年という長い年  
月です。」(ピーコさん)



(美輪明宏さんとピーコさんの引用は、「憲法を変えて戦争へ行こう、  
という世の中にしないための18人の発言」、2005年8月岩波ブッ  
ケット(¥476)に掲載されているものの一部分です)

- おめでとう
- ★ 九の日行動 1月9日(水)午前6時30分～7時30分小川町、東武竹沢駅頭
  - ★ 新成人に向けて 1月13日(日)午前9時～10時 本「たより」配布
  - ★ 新年親睦交流会 1月19日(土)午後4時～6時 みどりが丘自治会館(会費¥1000)

